

尾鷲市地域公共交通活性化協議会

平成20年5月28日設置
平成21年3月19日連携計画策定



概要

過疎高齢化が進む地域においては、利用者の減少が続き公共交通の存続が危ぶまれるような状況にある。そのなかで、地域特性を活かし、定住・交流促進が図れる対策を講じるため、これまでのバス路線を全面的に見直し、持続・継続できる地域及び路線を構築する。

○ふれあいバスの運行

尾鷲地区においては、交通空白地、JR尾鷲駅、宿泊施設及び観光施設とを結ぶ路線に再編し、アクセス向上を図る。

海岸線に点在している各集落については、近隣の駅とを結ぶ単一的なバス運行から、新たに市街地を加え、更なる生活交通路線へと変化させる。

これらのバス路線の実施により利用者増を図るとともに、尾鷲市が自立した生活圏を形成し、持続・継続できる地域づくりに繋げる。

○公共交通の利用促進策の実施

市内の鉄道やバス路線及びダイヤのほか、公共交通機関の連絡状況、尾鷲市観光情報など、利用者にとってわかりやすいパンフレット及びホームページを作成する。

